



大洲市如法寺



ボートレース



ミュージアム横ジャカラダ

**EUA**A 愛媛大学校友会  
Chime University Alumni Association

# 校友会報

NO.07 2021.11発行

発行：愛媛大学校友会事務局

〒790-8577 松山市文京町3番 校友会館2階  
Tel:089-927-8610 / Fax:089-927-8609

E-mail:office@koyu.ehime-u.jp  
webサイト:https://www.koyu.ehime-u.jp/



## 愛媛大学 学長 仁科 弘重 就任のご挨拶



大橋裕一前学長のあとを引き継ぎ、この4月から愛媛大学長に就任いたしました仁科弘重です。よろしく  
お願いいたします。愛媛大学校友会の皆様方には、日頃より本学の教育・研究、そして、在学生の生活などに格  
別のご支援をいただき、心から感謝いたします。

愛媛大学は、「地域を牽引し、グローバルな視野で社会に貢献する教育・研究・社会活動を展開する」という  
ビジョンを掲げ、さまざまな活動を展開してまいりました。組織的には、それぞれの学術領域の教育研究を担  
う7つの学部と、地域にある大学としての機能を担う4つの機構（教育・学生支援、先端研究・学術推進、社会  
連携推進、国際連携推進）とによって、地方大学の役割を果たしてきました。

現在、人口減少や少子高齢化、地球環境問題の深刻化という中長期的課題に加えて、2011年の東日本大  
震災以降頻発する自然災害、そして、現下の新型コロナウイルスによる感染症拡大など、本質的かつ深刻な問  
題が私たちの前に立ちはだかつており、新たな価値観の創造も含めて、社会システムの再構築が求められて  
います。少し極端に言えば、人類の生存のためには、Sustainable（持続可能な）社会と、Resilientな（復元  
力のある）地域社会を、早急に構築する必要があります。私たちは、Society 5.0やDX（デジタルトランス  
フォーメーション）という新たな考え方や技術も利用して、これらの課題に取り組んでいく必要があります。

地域に立脚する国立大学として、愛媛大学は、有為な若年人材の輩出と学術の振興に加え、地域創生への  
貢献も求められています。愛媛大学は、地域産業のイノベーションへの参画、社会人リカレント教育、地方への  
移住やリモートワークの普及など働き方の多様化への係わり、保有する知的財産の活用と産学官金民連携  
による新産業の創出、地域文化の再評価と発信など、さまざまな取組みによって地域創生に貢献し、地域にお  
ける「知の拠点」としての機能を果たしてまいります。

教育面においては、「学生は、今後60年間を生き続けなければならない」ことを再認識し、そのために、学生  
には、新たな社会システムに柔軟に対応し、自分の生き方や働き方を自身で設計・実行できる「自立した個人  
として生きていく能力」「さまざまな災害から自らを守る力」「科学的知識と論理的思考によって近未来を想  
像できる力」を身に付けて欲しいと考えています。

2年前に設置した「SDGs推進室」に加えて、この4月には「ダイバーシティ推進本部」の機能を強化しまし  
た。また、この10月には「DX推進室」を設置しました。さらに、わが国の「2050年カーボンニュートラル」に貢  
献するために、「地域ゼロカーボン」に取り組む事業も始めました。「地域における知の拠点」としての機能に  
加えて、SDGs、DX、ダイバーシティ、カーボンニュートラルなど、「時代が志向する」社会の構築に貢献すること  
も、愛媛大学の使命の一つと考えたいと思います。

最後に、愛媛大学校友会のますますのご発展を祈念するとともに、今後とも愛媛大学の諸活動にご理解、ご  
支援を賜りますようお願いし、ご挨拶とさせていただきます。

### プロフィール

- 1954年生まれ
- 1998年 4月 愛媛大学農学部教授
- 2011年 4月 愛媛大学農学部長（2015年3月まで）
- 2012年 4月 愛媛大学植物工場研究センター長（2020年3月まで）
- 2015年 4月 愛媛大学理事・副学長（2021年3月まで）
- 2017年10月 日本学術会議会員
- 2021年 4月 愛媛大学長

## 愛媛大学 副学長(校友会担当)西村 勝志 就任のご挨拶



校友会会員の皆様、昨年4月から校友会担当の副学長を拝命しております西村勝志です。本来ですと、昨年にご挨拶しているところではありますが、遅れてしまい、申し訳ございません。この場をお借り致しまして、お詫びかたがた、自己紹介をさせていただければと存じます。

私は、平成7年4月に法文学部に着任致しました。専門領域は会計学であり、これまで企業会計と会社法や金融商品取引法との接点を中心に法制度会計を展開してきました。平成27年4月に法文学部長として学部改変に関わってきました。とりわけ、第3期中期目標中期計画では、学部改組が一つの大きなテーマであったことから、新法文学部設置準備室長と新学部設置準備室長を掛け持ちし、文部科学省に対してそれぞれの立場で何度も説明にありました。

新学部設置の認可を受け、平成28年度から完成年度まで社会共創学部の初代学部長として、その役職を担いました。同学部は、従来にはない学部として地域に特化して地域の課題解決を目指すものでした。そのため、地域のフィールドが学びのキャンパスであり、多くの学生が現場での学びを体験・体感しております。しかし、昨年からは今年にかけて、新型コロナが蔓延し、なかなか現場での学びが十分に果たせない状況がみられ、ようやくワクチン接種が軌道に乗りかけても、いまだに、厳しい状況にあります。

この状況下にあっても、学生の修学意欲が低下しないよう、校友会からご支援を賜り、学生もなんとか前を向いて突き進むことができていると思います。これもひとえに会員の皆様のおかげであり、厚く御礼申し上げる次第であります。

私自身が、校友会会員の皆様と本学の学生、さらには教職員の方々をつなぐ役割を担っておりますので、皆様方のお声をお聞かせいただき、いっそうの校友会の発展に寄与すべく努力してまいります。引き続き、変わらぬご支援を賜りますこと、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### プロフィール

1959生まれ  
2001年4月 法文学部教授  
2012年4月 法文学部副学部長(2014年3月まで)  
2014年4月 法文学部総合政策系担当学部長  
(2016年3月まで)  
2015年4月 法文学部長(2016年3月まで)  
2016年4月 社会共創学部長(2020年3月まで)  
2020年4月 副学長

ご挨拶	02
大学の式典・行事	04
コロナ禍における 愛媛大学の学生支援	05
課外活動支援事業・ 就職支援事業	06
海外留学支援事業	07
学生支援事業	08
ホームカミングデイ	09
サークル紹介	10
先輩に学ぶ	12
学部同窓会からのお知らせ	16
農学部創立120周年	17
子規俳句カレンダー	18
子規俳句カレンダーギャラリー	19
令和3年度校友会理事会開催 (書面審議)	20
事業報告及び収支決算	21
校友会組織、Q&A	22
会員情報登録、事務局だより	23

## 入学生・卒業生支援を行いました。

## 令和2年度 学位記授与式(令和3年3月24日(水)南加記念ホール)が開催されました。



令和3年3月24日(水),令和2年度愛媛大学学位記授与式が挙行され,学部生1,838人,大学院生427人に学位記が授与されました。

令和2年度愛媛大学学位記授与式は,新型コロナウイルス感染症対策のため,学生代表者のみの参加とし,式典の様子はライブ配信されました。

午前10時から愛媛大学南加記念ホールで挙行された式典では,大橋裕一学長から各学部の代表者に学位記が手渡された後,コロナ禍の中での学生生活をたたえ「コロナを打開する時が来ることを信じ,力強く歩を前に進めよう」とエールが送られました。

その後,来賓の高橋祐二校友会会長から「困難な時代にあっても高い使命感を持ち,情熱と行動力で未来を切り拓いてください」と祝辞がありました。

卒業生を代表し教育学部の西原菜穂子さんから「愛媛大学で培った力に自信と誇りを持ち,困難を乗り越えていきたい」,また,修了生を代表し理工学研究科の渡部達也さんから「研究活動を通して得られた知識・技術をもとに広く社会に貢献したい」とそれぞれ力強い答辞がありました。

校友会では卒業生・修了生に記念品として『今治のタオル製品』を贈呈しました。



## 令和3年度 入学式(令和3年4月6日(火)南加記念ホール)が開催されました。

令和3年4月6日(火),令和3年度愛媛大学入学式が挙行され,学部生1,901人,大学院生426人が入学しました。

令和3年度愛媛大学入学式は,新型コロナウイルス感染症対策のため,学生代表者のみの参加とし,式典の様子はライブ配信されました。

午前10時から愛媛大学南加記念ホールで挙行された入学式では,学士課程,修士課程,博士課程の入学生が紹介された後,仁科弘重学長からコロナ禍が加速させたデジタル社会を見据え「時代の変化を感じ取り,自らの感性と思考力で判断し,自分のポテンシャルを高めてほしい」と式辞が述べられました。

その後,来賓の高橋祐二校友会会長から「愛媛大学で勉学に励み,専門性を高めるとともに,高い志と幅広い視野,多様性を理解し受け入れる広い心,目標を実現するためのコミュニケーション能力とリーダーシップを身につけてください」と祝辞がありました。

学部入学生を代表して教育学部の足立凌央さんが,また,大学院入学生を代表して医学系研究科の平岡大輔さんが,力強く入学生総代宣誓を行いました。

校友会では入学生に入学記念品として「学修ポートフォリオファイル」と,校友会会員登録記念品として「多機能ペン」を贈呈しました。





新型コロナウイルスの感染拡大は、日本はもとより世界中の社会や経済活動に大きな被害と影響を及ぼしています。愛媛大学においては、令和2年1月に「新型コロナウイルス対応危機対策本部」を設置し、学生、教職員及び地域の皆様の安全・安心を念頭に様々な対策を講じています。ここでは、その取組の一部を紹介します。

## 遠隔授業の実施

学生の感染防止を第一に考え、インターネットを活用した「遠隔授業」を開講するとともに、語学・実験・実習などの一部の授業については、感染対策を徹底した上で、対面授業を行っています。

## 新型コロナウイルスワクチンの職域接種

愛媛大学では、県内唯一の医学部附属病院を有する大学として、学生・教職員の健康を守り、さらにワクチン接種に関する地方自治体の負担の軽減と国のワクチン接種の加速化を図るため、県内大学等の接種を希望する学生・教職員、本学附属中・高生、職員の家族、関係業者、近隣の県立高校教員等を対象として約14,000人に接種を行いました。

接種期間：令和3年7月17日(土)～9月5日(日)までの間の土曜・日曜

実施大学等：愛媛大学、松山大学、松山東雲女子大学、聖カタリナ大学、愛媛県立医療技術大学、岡山理科大学獣医学部、愛媛県立農業大学校、愛媛十全医療学院

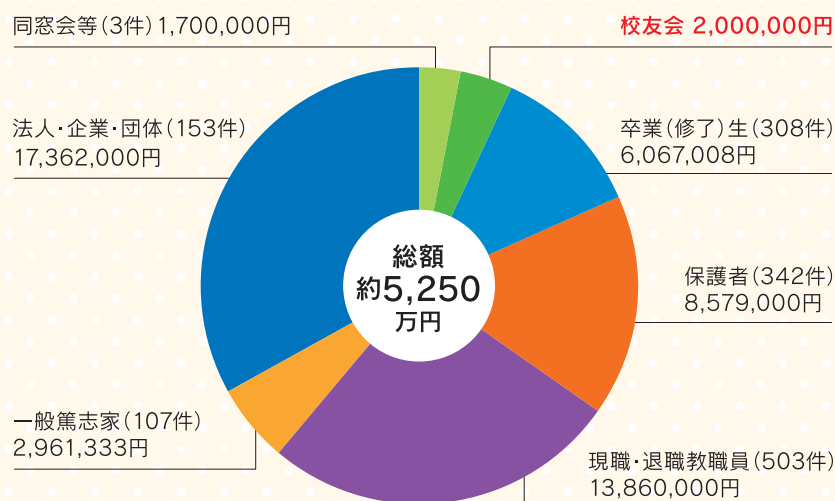
## 愛媛大学緊急支援給付金による支援

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、経済的に困窮した学生の生活を支援するため、愛媛大学基金(えみか夢基金)を原資とした「コロナ対応緊急支援奨学金」を創設し、令和2年度は723人に1人3万円の支援を行いました。また、令和3年度は383人に1人5万円の支援を行い、現在、更に募集を行っています。

コロナ禍により、経済的に困窮する学生に対して、十分な対策と継続的な支援を行っていくために、学内外に募金を呼びかけたところ、令和3年8月末において1,417件、約5,250万円のご寄付をいただいています。

皆様からの多大なご支援に心より感謝申し上げます。

### 【コロナ対応緊急支援奨学金の寄附状況】



愛媛大学基金へ御寄附をしてくださった皆様、心優しい御支援をありがとうございました。この度の愛媛大学緊急支援給付を受給できたことにより、1ヶ月安心して学業に専念することができました。私ごとですが、新型コロナウイルスの影響で留学先から緊急帰国をしました。そのため、当面の収入など予測できない中この給付金を受け取れたことに感謝しています。今後、大学院へと進学しアフリカにおける都市開発の研究に取り組んでいきたいです。

(社会共創学部4年)

この度は緊急支援給付金を給付いただき、ありがとうございました。

本来であれば、入学後アルバイトをすることによって、生活費の一部を賄う予定でありましたが、新型コロナウイルスの流行を受けて、アルバイトが出来ない状況でした。そのような折に今回の給付金をいただき、寄宿料などの支払いに充てることで、学生生活を維持することが出来ました。今後も学生として学業に邁進して参ります。

寄附者の方々には、重ねてお礼申し上げます。

(人文社会学研究科1年)

## サークル活動を応援しています。

令和3年8月2日(月)に愛媛大学校友会館2階サロンで、学生団体活動援助金交付式を仁科学長及び高橋校友会会長出席のもと実施しました。

これは、校友会の学生支援事業の一つで、愛媛大学の学生団体評価実施規程に基づき、大学が前年度における課外活動状況の評価し、優秀な団体に対し校友会から活動費(総額500万円)を援助するものです。

これにより、学生の皆さんの課外活動の更なる飛躍及び活性化を促し、また校友会事業を理解していただくことを目的として、平成19年度から実施しています。

交付式では、A評価団体の紹介後、仁科学長から、激励と校友会の支援に対する謝辞があり、続いて高橋校友会会長から、サークル代表者のそれぞれに、活動援助金の目録の授与と挨拶がありました。

その後、体育系及び文化系サークルの代表者からの謝辞があり、最後に出席者全員で記念撮影を行い終了しました。課外活動サークルの今後一層の活躍を期待しています。



【給付対象…評価C以上:給付団体 計50団体  
(体育系30団体,文化系20団体)】

【今回のA評価の団体】

- ・体育系6団体…ダンス部,水上競技部,漕艇部  
チアリーディング部,ヨット部,男子バレーボール部
- ・文化系4団体…写真部,書道部,交響楽団,  
愛大俳句研究会

## 就活学生を応援しています。

令和3年3月2日(火),3日(水),5日(金)の3日間、愛媛大学城北キャンパス共通講義棟Aで、来春卒業予定の愛媛大学生を対象とした合同企業説明会が開催されました。学生は、会場又は自宅での参加(リアル又はリモート参加)、企業は、会社等からWeb参加(リモート参加)するハイブリッド形式で、学生延べ4,272人(複数回参加)、県内外から約180社の企業が参加しました。

校友会では、例年、東京・大阪で開催される合同企業説明会に参加する学生さんに、参加交通費の支援(東京)や貸切バスの借上(大阪)等を行っていました。コロナ禍により就職活動形態が大きく変化するため、本年度は「2021愛媛大学リアル&リモート企業説明会」に参加する学生さんに、「就活生応援チケット」による支援を行いました。



海外留学する学生の皆さんに、渡航費や海外旅行傷害保険料等の一部を支援しています。また、海外留学対策協議会(JCSOS)のJ-Basic加入料を負担しています。この海外留学支援事業の留学体験記をご紹介します。

### ■ 法文学部 2年(留学時) 藤岡祐羽

派遣先: インド・ジャワーハルルールネルー大学、ネパール  
(2019年8月~2020年1月)

2019年8月から2020年1月まで、ジャワーハルルールネルー大学(JNU)に留学をしました。また、2月から3月まではネパールでのフィールドワークを行いました。

留学先にインド・ネパールを選んだ理由には、主に2つあります。1つ目は、自身の英語力を向上させるためです。留学先のJNUはインド屈指の名門校で、授業は全て英語で行われます。話し合いや寮での会話も英語であり、インドでは英語が話せないと大学に入学することが出来ないため、インド人学生とも英語でコミュニケーションを取らざるを得ません。そのような環境で自分の英語力を伸ばせるチャンスは他にないと考えました。

2つ目は、インドやネパールの貧困問題や宗教対立問題等について、現地の様子を直接見聞きたいと考えていました。JNUでは、主に国際法と日本文学、そして日本古代史の授業を受けていました。すべて英語での開講でしたが、最初はインド英語に苦戦し、内容が全く分かりませんでした。授業のスライドを写真にとって、後から復習するなどして内容理解に努めていました。最初は苦痛に感じていましたが、1ヶ月経つと慣れ、大変ではありましたが苦痛とは感じなくなりました。

ネパールでは、1ヶ月間滞在し、ネパールにおける教育問題や貧困問題、またチベット難民について調査をしました。ネパールでのフィールドワークで感じたことは、インタビューの難しさです。自分で質問を考え、英語で質問し、内容をまとめ、更に疑問を掘り下げて質問を考える。これが一番大変でした。自分が知りたいと思っていることでも、きちんと言語化して相手に伝えないと、何も出来ないと痛感しました。

ただ人々の人懐っこい笑顔に何度も救われましたし、貧しくとも最高のおもてなしをして頂いた時には、とても感動し、ネパールが好きになっていきました。全てを書き切ることは出来ませんが、学術的にも人間的にも成長できたと思っています。

#### 留学で得たもの

1つ目は、英語に対する意識が変化したことです。「英語が話せる＝流ちょうに英語を話す」は大きな間違いで、「英語が話せる＝流ちょうじゃなくてもコミュニケーションが取れる」ということに気が付いた、ということです。

2つ目は、常に社会問題に関心を持ち、考え続ける意識を持つことです。解決困難に思える問題でも、無関心ではなく一人一人が考え、解決に向けて微力を尽くすことでやがて解決策が見えてくるのだと感じました。

3つ目は、「人々との繋がり」や「縁」の大切さです。私はこの留学期間に、実に様々な人と会うことが出来ました。多くの人と出会い、話し、学びを得ることが出来ました。将来に大きな影響を受けたと思います。彼ら彼女らと話し、交流したことで多様な価値観を知り、また逆に我々日本の文化や価値観を発信することが出来たと思います。

最後4つ目は、日本の良さを再認識でき、誇りに思えたことです。日本がまだまだ頼られる存在であると私は感じ、その基礎を築いてきた先人を誇らしく思いました。

#### 楽しかったこと

1つ目は現地の学生と遊ぶことでした。私が住んでいた寮に誰かが遊びに来たり、何度かインド人の友達の家に招かれて、食事をしたりしました。火を囲んでたわいのない話や、時には将来の夢などについて話したりするのはとても楽しく、また刺激にもなりました。

2つ目は旅行です。インドはとにかく広いです。行く先々で様々な文化、人、遺跡などに出会い、充実した旅行でした。1月下旬には念願のタージマハルに行き、当時の技術に思いを馳せながらその佇まいに圧倒されていました。

#### 大変だったこと

1つ目は体調不良です。一番大変だったのは食事です。食事が最初はなれず、下痢と体調不良に悩ま

されました。幸い近くに日本人常駐の病院があったため不安はかなり軽減されました。

2つ目は学生運動です。インドではJNUも含めて学生運動が盛んです。JNUでは、11月から授業がストップしていました。原因は大学側の一方的かつ大幅な寮費値上げ(30倍)でした。学生団体が校舎を封鎖して、授業や試験を受けないように呼び掛けていました。こうした呼びかけにインド人学生でも反発を覚えていて、私自身も戸惑いを感じました。

インドに限らず、留学は本当に視野を広げてくれます。インドは少し混沌としすぎましたが、他の場所でも日本とは違う雰囲気、環境、多国籍な学生などに囲まれると、きっと何か感じるものがあるはずです。

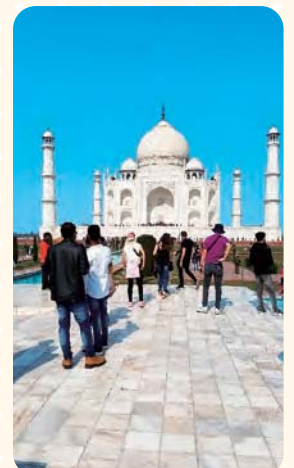
留学を考えている人は、海外に対する憧れと不安で葛藤していると思います。私も実際そうでしたが、行ってみて感じたのは、「意外と何とかなる」ということです。嘘か実か、行って確かめてみてください。この報告書を読んで一人でも多くの人が混沌の国インドに興味を持ち、実際に訪れて頂けると幸いです。



ホームステイ先の小学校



豆カレーとナン



タージマハル



## 工学部広場整備に支援しました。



令和2年11月 工学部本館南側に、学生の食事や休憩場所、教員と学生の交流場所として広場が完成しました。

同広場には、ウッドデッキ調のベンチとオレンジの parasol が設置され、11月25日にお披露目会を行い、愛称は、「e-スクエア」に決定しました。

「e-スクエア」の整備については、校友会からも支援しました。



愛媛大学社会共創学部を中心に大学酒プロジェクトを立ち上げ、農学部附属農場の無農薬米「松山三井」を原料とした、オリジナルの純米吟醸酒「愛され媛」を開発しました。



2020年6月愛媛大学附属農場に於いて、教職員4人、学生16人（社会共創学部13人、教育学部1人、理学部2人）の総勢20人が参加して、無農薬米「松山三井」の田植えを行いました。

30アールの水田は、広大な敷地で既に機械での田植えも行われておりました。手植えの作業は短時間ではありましたが、植え終わった水田には、綺麗に並んだ早苗が風に揺れており、参加者から歓声が上がりました。学生からは、「農家の苦勞がわかった」「土に入る経験が、新鮮だった」「小さい頃のことを思い出した」「稲の生育が楽しみだ」等の感想が聞かれました。



2020年10月愛媛大学附属農場に於いて、教職員4人、学生12人の総勢16人が参加して、稲刈りを行いました。台風による被害もなく、順調に生育した稲穂は黄金色で、頭を垂れる姿は見事なものでした。当日は気持ちの良い秋晴れて、稲刈りは初めてという参加者も多い中、附属農場の職員の方から、鎌の持ち方、刈る角度、稲の持ち方、脱穀の仕方など丁寧に教えていただきました。

刈り取った稲束を、コンバインのベルトに手を挟まれないように注意しながら脱穀しました。

お米はこの後、乾燥、初すり、等級検査を受けて精米された後、酒造りに使用されます。



第11回ホームカミングデイ 2020年11月

令和2年度第11回ホームカミングデイは、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、式典・施設見学・懇親会を中止させていただきました。

代わりに、ウェブサイト上で思い出の写真とメッセージを募集し、愛媛大学の歴史や現在の愛媛大学の紹介をしました。

令和3年度第12回ホームカミングデイは、新型コロナウイルスの県内外の感染状況に鑑み、式典等の会場開催を見合わせ、愛媛大学ホームページに関連情報を掲載させていただくことになりました。

次年度こそは新型コロナウイルスが収束し、皆様と再会できることを願っております。



愛媛大学の歴史 (大学ホームページより)一部をご紹介します。



開学式(昭和24年11月11日)



愛媛大学をご視察される  
昭和天皇(昭和25年)



法文学部本館を占領した学生に  
呼びかける教職員(昭和44年)



建設中の医学部(昭和48年)



開学40周年を記念して作られた学章の大団旗



法人化し、国立大学法人  
愛媛大学となった(平成16年)



## ヨット部

(2021年8月現在)

顧問 藪谷 智規 (社会共創学部 教授)  
代表 岸川 治貴

01 現在の部員数

男子  
18名

女子  
4名

02 活動場所

伊予市 森海岸

03 活動時間  
(コロナ禍の現在)

- 金～日 オンライン座学
- 大会前  
水木土日の8～13時

04 最近の活動内容,実績

ヨットを走らせながら動作を覚える基礎練習や,実際のレースを想定したスタート練習などコロナ禍の現在はオンラインで座学を行っています。

05 ホームページ・SNS

Blog

<https://euyc.blog.jp/>

Twitter

@EhimeUnivYacht

Instagram

@ehimeunivyacht



## 06 アピールポイント

我々ヨット部の雰囲気を一言で表すなら、「和気あいあい」です。言葉の通り、同級生間ではもちろんのこと,上級生・下級生に関係なくコミュニケーションがとれており,それが円滑な部活動の運営にも繋がっていると思います。それでいて,練習に対する部員それぞれの意識が高く,練習は真摯に取り組めており,そこも我々の強みであると考えます。

主将である僕が個人的にヨット部に入って良かったと思う点も,上記の雰囲気です。私はそもそもヨットという競技そのものに惹かれて入ったわけではありません。最初はヨット部の先輩方の朗らかな雰囲気から惹かれて入部を決め,その後に先輩方の練習風景を眺め,練習を重ねていく中で,ヨットそのものに興味を持つようになりました。今では私もすっかりヨットの虜になってしまいました。私と似たような考えを持つ部員も多く,入部したばかりの1回生や,これから入部してくれる子たちにも,ヨット部並びにヨットという競技そのものの良さを是非知ってもらえたらと思います。

今後の大きな目標としましては,四国インカレの個人戦・団体戦において上位を目指し(個人戦3位以内・団体戦優勝),全日本インカレへ出場することです。そのため,基礎練習により帆走技術を追求するのはもちろん,スタート練習やコース引きなどについて座学を交えながら学習を重ね,レースの折り返し地点である上マークをトップで回航するといった具体的な目標を立て,練習に取り組んでいます。

(代表 岸川 治貴)







# 写真部

(2021年8月現在)

顧問 川口 和仁(社会共創学部 教授)  
代表 福田 百花

## 01 現在の部員数

男子 34名  
女子 37名

## 02 活動場所

部室や共通講義棟, 大学会館(部会)  
写真が撮れるところならばどこでも  
(撮影会)

## 03 活動時間 (コロナ禍の現在)

■火曜または木曜 18:15~  
※撮影会は不定期

## 04 最近の活動内容, 実績

Zoomを利用した部会の実施, 市内や県内の各地への撮影会, SNS  
を利用したオンライン写真展の開催



## 05 ホームページ・SNS

Twitter  
@Ehime\_photo

Instagram  
@ehime.photoclub

## 06 アピールポイント

愛媛大学写真部では、部員のほとんどが大学に入ってから写真を始めた人ばかりです。入部するために特別な知識などは必要ありません。部会では連絡事項の伝達や部員の撮影した写真の発表を行っており、撮影会では県内や県外問わずみんなで興味のあるスポットにお出かけをします。さらに学内外での写真展の開催やフォトコンテストへのエントリーなども行っており、最近では8月下旬から9月上旬にかけてオンライン写真展を開催したところ( SNSから見ることができます。ぜひ! )。

個人で写真を楽しむことは可能です。しかし写真部だからこそ味わえるものもあります。例えば同じ趣味を持つ仲間と高めあって写真を撮ったり極めたりすることができますし、仲間と一緒に撮影スポットに出かけて楽しさを感じることもできます。せっかくなので楽しく写真を撮りたい、という方にはぴったりのサークルだと思います。

部員が使用している機材は、一眼レフカメラやミラーレスカメラはもちろんのこと、コンパクトデジカメやインスタントカメラなど多岐にわたります。近年ではスマートフォンの画質も向上しているため、部内のスマホ勢も増えているところ。部長自身も、一眼レフカメラとスマートフォンの両方を使用して写真撮影を行っています(楽しいです)。

さて、写真部はサークルポリシーにもあるように「写真を通して地域に寄り添える」部を目指しており、撮影依頼や撮影会を通して地域に貢献していきたいと考えています。また最近、写真部として他サークルとも何かしら連携をしていくべきなのではないかとも考えているところです。私たちには何ができるでしょうか。考えることは尽きません。更なる向上心を持って活動を行っていききたいと思ひます。愛媛大学写真部を今後ともよろしくお願いいたします。

(代表 福田 百花)



本学卒業(修了)後、愛媛県内企業等で活躍されている先輩を現役の愛大生が訪問取材し、先輩の生の声を掲載する『先輩に学ぶ』をホームページに掲載しています。これは、様々な業種に就かれている卒業生同士や後輩学生との交流を図るとともに、校友会会員相互のネットワークを拡大させることを目的としています。

また、先輩からの有意義な学生生活の過ごし方や就職活動等へのアドバイスなど、先輩だからこそ教えてもらえる社会のことと大学のこと(先輩学)をインタビューしています。

## 愛媛大学

大村 英慎さん (2017年3月 農学部生物資源学科 卒業)

(取材時:農学部事務課会計チーム)

畝 慎太郎さん (2018年3月 工学部機能材料工学科 卒業)

(取材時:農学部事務課総務チーム)

## ■ 現在どのような仕事を担当していますか。

〈大村さん〉農学部がある樽味地区の安全衛生、学生の安全確保に関する仕事、附属の農場と演習林の管理運営に関する事務仕事をしています。

〈畝さん〉総務チームに所属していて、昨年までは学生補助員(TA・SA)の勤務時間や先生方の出張管理、今年度は教職員の評価、広報に関する仕事をしています。



## ■ 現在の職場の良いところやPRポイントを教えてください。

〈大村さん〉良いところは、学生が授業を受けているのを近くで見られることや、先生方の教育活動、研究活動にも関わることが出来ることです。自分がしたことに対して感謝してもらえるのはやりがいを感じます。学生教育に携わりたいと考えてきたので、それを肌で感じられるのもとても良いところだと思います。

PRポイントは、広い農地があるところ。まさに農学部というイメージにぴったりで、最近きれいな植物や芝生も育ってきて居心地が良い点です。

〈畝さん〉良いところは、教職員間の垣根が低く、皆さんフレンドリーに話しかけてくださるところです。

PRポイントは、城北キャンパスのグリーンホールのような大講義室など新しい施設が完成し、樽味キャンパス全体が新しくなっていることです。また、高校生が実習で使う羊や鶏もいて、城北キャンパスとは違った魅力があります。

## ■ 社会人になって気を付けていること・大事にしていることは何ですか。

〈大村さん〉今私達の仕事はチームで行うことが多いため、「ほうれんそう(報告・連絡・相談)」を基本として、コミュニケーションをとりながら進めていくことが大事だと思っています。また「とりあえず動く」ということも意識しています。何か問題が生じたとき、積極的にその仕事に関わっていくことで自己の成長を実感します。

〈畝さん〉今は総務チームに所属しているので、一般の方や外部の方からの電話や先生方からの相談など、色々なケースに対応しています。そこで自分の担当ではない仕事について聞かれた際にも、ある程度の対応ができるように、仕事のアンテナを広げるようにしています。まだまだ勉強中ではありますが。(笑)



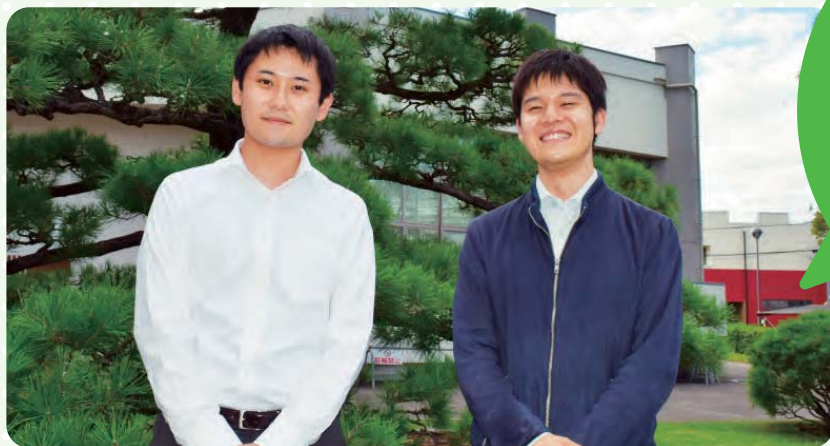
## ■ どんな学生生活を過ごしていましたか。

〈大村さん〉農学部に在籍していたため周りが男ばかりで、よく遊んでいました。また、3年生の時に「障がい学生支援ボランティア(CBP)」として、学生代表者会議で障がいのある学生からの要望をまとめたものを学長と理事の前で発表したことは良い経験だったと思います。当時はあまり緊張していなかったのですが、今は緊張して出来ないなと思います。(笑)

〈畝さん〉工学部に在籍していたので大村さんと同様に周りが男だらけで、初対面とは思えない程遠慮が全く無く、気が楽でした。(笑)

また「スポーツ愛好会」というサークルに所属する中で、100人近いメンバーとのやり取りや、新入生歓迎会に150人程の新入生が来た時の対応はすごく大変でしたが、良い思い出です。





愛媛大学の事務職員として働くお二人。私達学生が快適に安心して大学生活を送れるよう支えてくださっています。

※紙面(分量)の都合上,全文掲載しておりません。校友会ホームページをご覧ください。

(令和2年11月取材)



### ■ 就職活動において大切なことやアドバイスなどをお願いします。

〈大村さん〉周囲の人の就職が決まっていく中でどこまで自分が耐えられるか、苦勞と言うより精神的なところで前向きになれるか、周りを気にせずにいけるかというところが心に残っています。準備をしっかりしてたくさん調べるのが大切です。

〈畝さん〉今と自分の時とは少し状況が違いすぎるかも知れないのですが、公務員系は時期が遅いので、受験と同じで、周りが決まった決まったと喜んでいる中、どれだけ自分が我慢できるかという気持ちとの戦いでした。ですので、皆さんには焦らないで頑張ってください。また、なかなか就職活動というものをイメージ出来ないかもしれませんが、取っかかりを大切にすると良いスタートが切れると思います。

### ■ 愛大生にメッセージをお願いします。

〈大村さん〉それこそ今の状況は特殊で、特に今年度、来年度あたりは僕らが経験したことがないようなことを、学生の皆さんには求められるのではないかと思います。それでも全員同じ状況と年代を生きているので、頑張ってください。

また、この状況下では少し難しいかも知れないのですが、今は学生生活を楽しんでもらえたらいいと思います。

〈畝さん〉大学生が一番楽しい時期なので、この状況は残念でならないと思いますが、ここを踏ん張って乗り越えて欲しいと思います。

就職活動となったらほとんどリモートになるので、例えば東

京など遠い所でもやりやすくなったというのは、不幸中の幸いかなと思います。この状況を十分に活用して欲しいです。

### インタビューを終えて (学生インタビューの感想)

【石井】 コロナウイルスの影響もあり、私達にとって久しぶりの先輩学で、うまく取材できるか心配しながら臨みました。手際よく進めていくことができなかつた中で、お二人は優しい笑顔で一つ一つの質問に丁寧に答えてくださり本当に感謝しています。私は、現在3年生で就職活動を始めています。社会人になって気を付けていることで、「報道相」、「コミュニケーションを積極的に取る」、「とりあえず動く」ということが大切と教えていただいたので、私も意識していきたいと思っています。余談ですが、農学部の羊も見に行ってみたくて思いました。(笑)

【安松】 今回は、普段お世話になっているけれどお仕事内容はあまり知らない、学内職員の方へインタビューさせていただきました。私がお二人から学んだことは、「何事も真剣にやる」、「焦らず前向きに考える」ということの重要性です。インタビューを通して、遊びも勉強も学生時代に真剣に取り組んだこと全てが社会に出て活かされている、ということが分かったので、私も残りの学生生活でやるべきことは全て真剣に取り組もうと思いました。また、このような状況下で就活に対する不安が絶えないのですが、一方でWEB説明会など地方就活生にとってはチャンスが増えたというプラスな点もあるため、前向きに自分のペースで取り組んでいきたいと思っています。

【水木】 日本社会は現在特殊な状況となっている、しかし逆にこれはチャンスであると捉える、視点を変えるということが大事なんだということ先輩方から学びました。大学時代について、就職活動、そして公務員の職務についてと沢山の普段聞くことのできない話を聞くことが出来ました。自分に今何が出来るのか、そして何をやったらいいのかということを考えて、将来自分が後悔しないようにしっかりと準備を行いたいと思いました。

ご多忙のところ、丁寧にインタビューにお答えいただき、本当にありがとうございました。

太陽石油  
株式会社

新里 武之さん (2011年3月 理学部地球科学科 卒業)

(取材時:生産・技術部 技術グループ主任)

今岡 翔平さん (2016年3月 工学部応用化学科 卒業)

(取材時:製造部 製造二グループ)

山下 大輝さん (2016年3月 工学部電気電子学科 卒業)

(取材時:工務部 計電グループ)

宇高 美咲さん (2018年3月 教育学部芸術文化課程音楽文化コース 卒業)

(取材時:財務部 経理サポートグループ)

## ■ 現在どのような仕事を担当していますか。

〈今岡さん〉 製造部 製造二グループで、石油製品を作る精製装置の運転・調整、他社や事業所内の他グループとの連絡・調整を主に行っています。

〈山下さん〉 工務部 計電グループで、主に電気を取り扱う仕事をしています。他にも、工場内設備の設計・保全・メンテナンスをしています。

〈宇高さん〉 財務部 経理サポートグループで、四国事業所の入出金管理、各部署や各支店から申請される経費の精算と確認、各支店からの入金チェックをしています。

〈新里さん〉 生産・技術部 技術グループで、工場内の装置の新設や、改造設計を行っています。その他にもガソリン、灯油精製等に必要の触媒の管理、省エネ対策、燃料使用量のモニタリングを行っています。



山下さん

## ■ 学生時代に経験して役に立ったことは何ですか。

〈今岡さん〉 大学の研究室に所属していた際、2、3週間に1回研究の進捗状況を報告するミーティングがあり、それまでにレポートを作成しなければならなかったことです。そのおかげで計画的なスケジュール管理や、意識も出来たので役に立ったと思います。

〈山下さん〉 アルバイトが良い経験になりました。バイトリーダーを経験し、店の売り上げを自分たちで伸ばそうと考えたことで、自主性や協調性、コミュニケーション能力が身に付いたと思います。

〈宇高さん〉 アルバイトは一足先に社会で働くことや、自分から動かないと何も起こらないということを学んだ良い機会でした。周りの人と連携して働くことがいかに大切かを

知ることが出来ました。また、学部ではトーンチャイムという楽器を演奏する活動に参加していました。専攻はピアノで個人プレーでしたがトーンチャイムは1音しか無く、人が集まらないと曲が出来上がらなかったので、良い演奏をするには空気を読むことも大切だと知り、とても勉強になりました。

〈新里さん〉 アルバイトをしてお金を得るという経験が役に立ちました。当時はコンビニと飲食店のアルバイトをしていましたが、労働の大変さや正社員の方とのコミュニケーションの取り方など、社会人に必要なマナーの一部を知ることが出来て良かったです。アルバイトをすることで、普段あまり関わる機会の無かった他の学部の人と知り合うきっかけになりました。



今岡さん

## ■ 職場PRをお願いします。

〈今岡さん〉 規模の大きい会社で、人々の生活や産業活動に欠くことのできない石油製品を製造していますので、やりがいがとても大きい仕事だと思います。そして、太陽石油は同業他社と比べると小さい会社ですが、小さいからこそ出来ることがあります。大きい会社だと1つのことをやるにしても規模が大きい分、時間がかかりますが、我社は少数精鋭ですので、フレキシブルに出来るところが強みだと思います。

〈山下さん〉 福利厚生がしっかりしていて、育休なども充分に取れます。総合エネルギー企業なので、新設などの際に大きな仕事出来るのが良いところだと思います。また、職場



太陽石油は  
総合エネルギー企業  
としての役割と、石油製品・  
石油化学製品の多様な  
ニーズに対応し、  
安全で安定的な操業で  
お客様の期待に応えます。

※紙面(分量)の都合上、全文掲載しておりません。  
校友会ホームページをご覧ください。

(令和元年12月取材)



も雰囲気良く、まだ4年目で若いですが、自分の意見をはっきり言えるなど、働きやすいなと思います。

〈宇高さん〉先輩社員の方々を見ていたら産休・育休・有給休暇など充分取られているなど、福利厚生面がしっかりしていると感じます。また、少数精鋭で独立自尊を貫いているのは企業としてすごいなと思います。自分の働いている経理サポートグループは、女性の割合が多いのですが、皆さん積極的に発言し聴いてくれる環境で、色々な相談にも乗ってくれます。さらに経理の仕事を通して、会社全体を見られるのが良いところです。



新里さん

〈新里さん〉私の部署内では、同僚や上司ともコミュニケーションがよく取れているので、困った時は相談しやすい環境かなと思います。また、太陽石油は石油業界では小規模ですが、少人数がゆえ、個々の付き合いが深く、コミュニケーションが取りやすいのが強みの1つだと思います。また、定期的に社長や経営陣、マネジメント層の方などとの懇談会があり、そういった距離が近いところで、会社の方針や経営者の考え方などを定期的に伺う機会に参加出来るのは良いところだと思います。

### ■愛大生にメッセージをお願いします。

〈今岡さん〉やはり社会人になったら長期休暇などはめったに取れないし、とにかく時間が取りにくいです。大学生は時間に余裕があるので、勉強はもちろん大事ですが、学生時代にしか出来ないことをたくさんやって欲しいと思います。今思えばもっと勉強もしておけば良かったと思います。特に会社に入ってから英語を使う機会が多々あるのですが、

その時にやっぱりやっておけば良かったなと思います。

〈山下さん〉大学時代の友達は多分一生ものだと思います。私も未だに大学の友達と付き合いがあるので、友達は大事にして欲しいと思います。あとは、自分がやりたいこと(法に触れない程度ですよ(笑))をやれば良いと思います。興味のあることを積極的にやったり、趣味を増やしていったりすると、それが会社に入って共通の趣味の先輩や同僚と出会って仕事しやすくなるということがあるので、やりたいことをやって、勉強もほどほどに頑張ってください。

〈宇高さん〉大学生活の4年間は一番有意義な時間でした。皆さんもアルバイトや勉強を頑張るとか、旅行に行き自分の趣味を見つけるなど、やりたいことをとことんやって、取り敢えず4年間楽しむことが大切だと思います。悔いの残らないように学生生活を送ってください。



宇高さん

〈新里さん〉大学生は社会人に比べて圧倒的に多くの時間があると思いますので、勉強、バイト、サークル、趣味など何に使っても良いと思います。しかし、自由時間が多い分無駄に過ごしてしまう可能性もあるので、県外出身者も県内出身の方も、せっかく愛大生になって数年間過ごすのですから、悔いの無い充実した学生生活を送ってください。

ご多忙のところ、丁寧にインタビューにお答えいただき、本当にありがとうございました。

## 法文学部同窓会だより

会 員 数:23,054名(2021年4月現在)

支 部:東京章光会(関東),関西にきたつ会(関西),中国(広島)支部,四国支部

主な活動:総会・理事会,会報発行(年1回),会員名簿発行・管理,同窓会提供講座,学部学生支援 など

沿 革:1959 文理学部同窓会創立

1979 法文学部同窓会に改組

法文学部同窓会の正式名称は「愛媛大学文理学部人文学科ならびに法文学部同窓会」で,文理学部時代を合わせて2019年に創立60周年記念を迎えました。

新型コロナウイルスの影響で,昨年度に引き続き今年度も各支部総会などが中止・延期,また本部理事会は持ち回り開催になるなど,例年とは全く異なった運営状況になっています。

11月27日(土)には3年に1度の本部総会が予定されていますが,状況次第で縮小・持ち回りとなる可能性があります。そんな中でも,年1回発行の同窓会報は,例年通り9月に会員の皆様にお送りすることができました。



### 法文学部同窓会事務局

〒790-8577 松山市文京町3番 法文学部内

TEL.090-1002-6376

HP:<https://ehime-u-houbun-dousokai.com/>

E-mail:[support@ehime-u-houbun-dousokai.com](mailto:support@ehime-u-houbun-dousokai.com)

## 教育学部同窓会だより

教育学部同窓会では,大学や教育学部に関する行事及び情報,また県内外の会員から送られてくる情報等を紹介した同窓会報を7月と2月の年2回発行し,約8,000人あまりの会員の皆様にお届けしております。残念ながら今年度も新型コロナウイルス感染拡大予防のため同窓会事業及び大学の授業・行事の自粛を余儀なくされ,会員の皆様にお知らせする情報が少ない事態に陥っていますが,会員の皆様のご協力で何とか会報発行を継続することができております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

また,昨年度は,全会員を対象とした「第17回教育学部同窓会懇親会」を開催する予定でしたが,新型コロナウイルスの感染拡大に伴い会員の皆様の健康及び安全を第一と考え中止といたしました。現在では集団接種や職域接種等のワクチン接種が進み,次年度開催に向けて灯が見えてきたところですが,変異株発生等まだまだ不安定な要素はありますが,令和4年8月に下記の要領で「第18回教育学部同窓会懇親会」の開催を予定しています。詳細は令和4年2月発行の同窓会会報(133号)と一緒にお届けするチラシでお知らせいたします。

なお,教育学部同窓会に関するお問い合わせや会員の皆様の寄稿につきましては事務局までお願いいたします。会員の皆様がスマホ・デジカメ等で撮影した地域紹介の写真も募集しています。地域の名所の写真や桜・雪景色等お送りください。お待ちしております。

### 第18回 教育学部同窓会懇親会

期日:令和4年8月21日(日)

時間:12:00~15:00

場所:東京第一ホテル松山  
2Fコスモホール

愛媛大学教育学部 同窓会

【愛媛大学教育学部同窓会】

〒790-8577

松山市文京町3番 教育学部事務課内

Tel 089-927-9383(月・水・金の午前中)

Email: [dosokai@ed.ehime-u.ac.jp](mailto:dosokai@ed.ehime-u.ac.jp)

## 工学部同窓会(工業会)だより

工業会(愛媛大学工学部同窓会)は,今年で82周年を迎え,会員数は2万5千人を超えています。東京,東海,近畿,岡山,広島,高松,高知,愛媛の8つの支部があり,毎年各地で懇親会を兼ねた支部総会が開催されていましたが,昨年からの新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により,同窓会活動,支部活動ともに実施できない状況になっています。

この状況下において大勢で集まる活動はできませんが,リモート会議を開催し,名簿の管理や会誌の発行,大学への支援,先生や学生の方々の海外研修や講演会,学生活動,卒業時等の補助金支給など可能な形で事業を進めております。

また,各支部においては,コロナ禍での安全な支部総会の開催の可能性を模索しており,工業会本部はその支援はもとより,FacebookなどSNSを用いて会員への積極的な情報発信にも取り組んでいます。

今年度も,工業会の活動精神の根幹となる「会員相互の親睦と人格の向上を図る」という目的に沿った「事業運営」「支部活動」「大学運営への参画」を積極的に進めて参りますので,会員のみなさん,どうぞ,工業会事業にご参加ください。



工業会公式サイト  
QRコード

### 愛媛大学工業会事務局

〒790-8577 松山市文京町3番 工学部内

TEL.089-927-9702

HP:<http://www.eu-kogyokai.jp/>

E-mail:[kogyokai@ee.ehime-u.ac.jp](mailto:kogyokai@ee.ehime-u.ac.jp)



## 農学部同窓会（ユーカー会）だより

令和2年（2020年）4月に農学部が創立120周年を迎えたことを記念し、令和2年10月10日（土）に、農学部大講義室で記念式典を開催しました。

「愛媛県農業学校」が明治33年（1900年）4月に設立され、その後「愛媛県立農業学校」、「愛媛県立松山農業学校」、「愛媛県立農林専門学校」、「愛媛県立松山農科大学」を経て、昭和29年（1954年）の国立移管により「愛媛大学農学部」となりました。

式典は、120周年記念事業により改装された大講義室で、約50人の参加者のもと挙行されました。新型コロナウイルス蔓延防止のため、時間を短縮したうえで、参加者も学内関係者、同窓会（ユーカー会）関係者等に限定し、Web配信も行いました。

厳かな雰囲気の中で行われた式典では、山内聡農学部長・農学研究科長の式辞、大橋裕一学長のあいさつ等の後、羽藤堅治農学研究科教授（農学部・農学研究科卒）による「農学部の過去・現在・未来」と題した記念講演が行われました。

時間や参加者、内容等が限られた中ではありましたが、120年という歴史の重みを感じることができた式典となりました。



山内聡農学部長・  
農学研究科長の式辞



大橋裕一学長のあいさつ



羽藤堅治農学研究科教授  
による記念講演

## 農学部の歴史

明治33年（1900年）  
愛媛県農業学校 開校

昭和24年（1949年）  
附属農業高等学校

昭和29年（1954年）  
愛媛大学農学部  
附属農場

昭和32年（1957年）  
附属演習林

昭和42年（1967年）  
大学院農学研究科 設置

昭和60年（1985年）  
大学院連合農学研究科 設置

平成16年（2004年）  
国立大学法人化

平成20年（2008年）  
附属農業高等学校  
→附属高等学校へ改組



農学部-昭和30年頃(50年史より)



附属農場-昭和55年頃(50年史より)



農学部-昭和50年代(卒業アルバムより)



連合農学研究科 研究棟(卒業アルバムより)

校友会では、愛媛大学長が選句された郷土松山が誇る俳人正岡子規の俳句と大学職員が撮影した愛媛県内の四季折々の写真を掲載した、『子規俳句カレンダー』を毎年作成しています。

表面は写真とスケジュールを、裏面はハガキとして使えます。俳句の英訳も記載していますので、このカレンダーを通して国内外の皆様と愛媛大学校友会や子規との出会いの機会になれば幸いです。

子規俳句カレンダー2022

1月 年こゝにあらたなる梅の苔哉



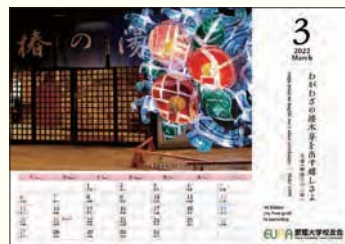
福寿草

2月 梅か香をくゝつて通る小路哉



梅(南楽園)

3月 わがわざの接木芽を出す嬉しさよ



道後温泉 櫓の湯

4月 木蓮の蕾少き若木かな



木蓮(工学部本館前)

5月 薫風や千山の緑寺一つ



コルリ

6月 禅寺になにもなきこそ涼しけれ



竹林寺(高知県)

7月 雲の峰白帆南にむらがり



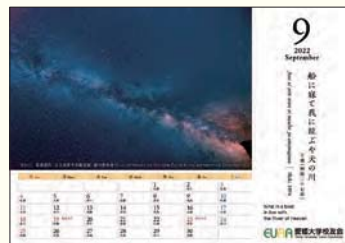
多々羅大橋(しまなみ海道)

8月 草花を描く日課や秋に入る



草花帖(正岡子規:国立国会図書館所蔵)

9月 船に寝て我に竝ぶや天の川



天の川 写真提供:久万高原天体観測館・藤田康英様

10月 山尽きて稲の葉末の白帆かな



棚田(大洲市戒川地区)

11月 日のあたる石にさはればつめたさよ



アンモナイト(愛媛大学ミュージアム)

12月 一年の心の煤を払はゞや



すず払い 写真提供:道後温泉事務所

会員限定  
プレゼント

■子規俳句カレンダー2022

愛媛大学校友会[2022年版子規俳句カレンダー]を校友会会員様に限りプレゼントいたします。

詳細・応募につきましては12月初めに校友会ホームページにてご案内いたします。先着200人(予定)としていますのでお早めにご応募ください。





2007年版～校友会子規俳句カレンダー 一部抜粋してみました。

2007年版 4月



花散りて人の眠たき卯月かな

2008年版 1月



一月となりけり雪もふりにけり

2009年版 8月



夏草やベースボールの人遠し

2010年版 1月



禅僧の寂然として今朝の春

2011年版 11月



鶯見えて冬あたくかやガラス窓

2012年版 12月



なぞ一を解て見せけり冬籠

2013年版 2月



古庭やいろへの鉢いろへの芽

2014年版 1月



はかま着て灯ともす庵や花の春

2015年版 6月



朝夕に神きこしめす田歌かな

2016年版 9月



秋の雲太平洋を走りけり

2017年版 12月



汽車道に冬木の影の並びけり

2018年版 10月



一日の秋にぎやかに祭りかな

2019年版 1月



温泉の町に紅梅早き宿屋哉

2020年版 8月



城山の北にとどろく花火かな

2021年版 5月



二村の凧集まりし河原かな

# 令和3年度校友会理事会開催(書面審議).....

令和3年度の校友会理事会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面審議とさせていただきました。理事会前に総務・企画専門委員会を開催し、各議題について確認した後、理事の皆様へ資料をお送りした結果、全議題についてご承認をいただきました。

## ■ 理事会(書面審議) ■

### 議 題

1. 令和2年度の事業報告(案)及び収支決算(案)について
2. 令和3年度の事業計画(案)及び収支予算(案)について
3. 校友会役員の改選(案)について

### 報告事項

- (1) 校友会首都圏支部、近畿支部及び中国支部事業の開催状況について
- (2) 愛媛大学ホームカミングデイについて
- (3) 愛媛大学におけるワクチン接種について

## 校友会役員紹介 令和2,3年度(次回総会まで)

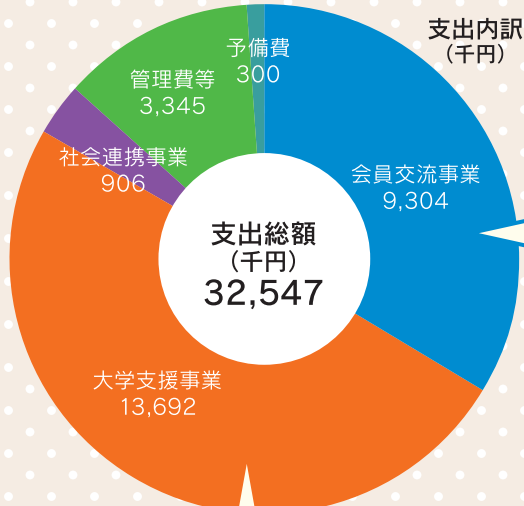
(敬称略:50音順)

役 職	氏 名	現 職	役 職	氏 名	現 職	役 職	氏 名	現 職
会 長	高橋 祐二	三浦工業(株)取締役会長, 工業会(工学部同窓会)	理 事	宇野 英満	医学部後援会会長	理 事	濱邊 弘美	医学部学務課長
副 会 長 (常任理事)	武田 壽	工業会(工学部同窓会)	理 事	岡田 禎之	校友会中国支部支部長, 法文学部同窓会	理 事	林 和男	退職教員の会理事
副 会 長 (常任理事)	野村 靖記	法文学部同窓会,元(株)伊予銀行常務, 【総務企画担当】	理 事	岡本 正明	校友会近畿支部支部長, 法文学部同窓会	理 事	藤井 晶子	医学部看護学科同窓会, 医学系研究科 助教
常任理事	井上 雅裕	大学院理工学研究科(理)教授	理 事	垣原 登志子	農学部同窓会(ユーカー会)	理 事	前崎 正信	理学部後援会会長
常任理事	大谷 勲	理学同窓会	理 事	加藤 明浩	法文学部事務課長, 法文学部後援会会長	理 事	宮田 晃	農学部後援会会長
常任理事	柿木 一高	工業会(工学部同窓会)会長	理 事	門脇 綾	社会共創学部後援会会長	理 事	山内 孔	教育学部後援会会長
常任理事	桐野 律子	総務部総務課長,【会計担当】	理 事	絹谷 政江	退職教員の会理事	理 事	吉田 一恵	退職職員会理事
常任理事	高橋 治郎	教育学部同窓会会長	理 事	兒玉 直子	国際連携推進課長	理 事	渡部 雅泰	法文学部同窓会副会長
常任理事	立入 哉	教育学部教授	理 事	近藤 理	教育学生支援部長	監 事	武岡 英隆	南予水産研究センター長・ 特命教授
常任理事	西田 和真	法文学部同窓会会長	理 事	近藤 由香里	農学部事務課長	監 事	山村 滋	退職職員会会長
常任理事	西村 勝志	副学長,社会共創学部教授, 【総務企画担当】	理 事	塩出 和久	教育学部事務課長	幹 事	阿部 晋	教育学部同窓会
常任理事	野倉 嗣紀	退職教員の会会長,常任理事会議長, 【総務企画担当】	理 事	清水 栄治	校友会首都圏支部支部長, 法文学部同窓会	幹 事	池内 直之	工業会(工学部同窓会)
常任理事	羽藤 賢治	大学院農学研究科教授	理 事	神野 浩一	財務部財務企画課長	幹 事	上谷 浩一	農学部同窓会(ユーカー会), 大学院農学研究科准教授
常任理事	平岡 耕一	大学院理工学研究科(工)教授	理 事	菅田 顕	教育学部同窓会	幹 事	久保 泰敏	法文学部同窓会
常任理事	松本 長彦	法文学部教授, 法文学部同窓会副会長	理 事	鈴木 裕子	理学部事務課長	幹 事	武田 定典	医学部同窓会
常任理事	三木 伸司	農学部同窓会(ユーカー会)会長	理 事	武田 和義	退職職員会副会長	幹 事	都築 伸二	大学院理工学研究科(工)教授, 工業会(工学部同窓会)
常任理事	水口 和壽	退職教員の会副会長	理 事	谷 弘幸	大学院理工学研究科(理)准教授, 理学部同窓会	幹 事	野本 美佳	医学部看護学科同窓会, 医学系研究科 助教
常任理事	宮崎 渥	社会共創学部同窓会会長	理 事	千葉 昇	理学部同窓会	幹 事	配川 幸一	農学部同窓会(ユーカー会), 農学部技術室 技術員
常任理事	桑師神 芳洋	大学院医学系研究科教授, 医学部同窓会会長	理 事	鳥生 勉蔵	法文学部同窓会事務局長	幹 事	山下 雅司	教育学部同窓会
常任理事	矢野 紘	工業会(工学部同窓会), 【総務企画担当】	理 事	仲田 秀雄	理学部同窓会会長	幹 事	渡邊 政富	工業会(工学部同窓会)
常任理事	山本 智規	社会共創学部准教授	理 事	VERGIN・RUTH	元国際連携推進機構教授	顧 問	仁科 弘重	愛媛大学長
理 事	青野 宏通	工業会(工学部同窓会), 大学院理工学研究科(工)教授	理 事	華谷 勝	工学部後援会会長	相 談 役	森本 惇	前校友会会長
理 事	阿部 修一	教育学部同窓会	理 事	羽藤 直人	大学院医学系研究科教授, 医学部同窓会	参 与	鮎川 恭三	元愛媛大学長
理 事	泉 紀江	工学部事務課長	理 事	濱田 桂子	退職職員会監事			



令和2年度 校友会入会者数1,890名

■ 愛媛大学校友会 令和2年度収支決算



会員交流事業

校友会報No.6を発行  
 県内企業で働く先輩を取材し「先輩に学ぶ」を更新  
 医師・看護師等国家試験への支援  
 学修ポートフォリオファイルを配布  
 校友会ホームページリニューアル  
 入学生へ入学記念品を贈呈  
 卒業生へ卒業記念品を贈呈 等



大学支援事業

学生用図書への寄贈…349冊寄贈  
 新型コロナウイルス感染拡大による生活困窮学生への支援  
 サークル団体へ活動資金の援助  
 英語資格試験受験への補助  
 私費留学生への修学資金援助 等

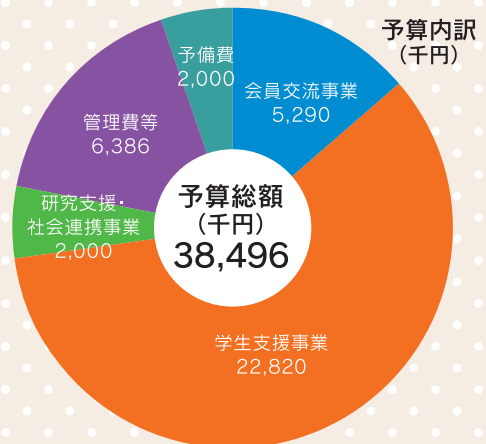


社会連携事業

子規俳句カレンダー 制作



■ 愛媛大学校友会 令和3年度収支予算



※令和2年度は、コロナ禍のため、海外留学支援事業など実施できない事業がありました。  
 ※令和3年度は、予算内訳を組み替え、学生への支援を「学生支援事業」に集約しました。

校友会支部

■ 国内支部

国内支部では、会員相互の親睦や校友会ネットワークの拡大を図るため、各種事業を行っています。

首都圏支部

2007年7月設立  
 連絡先: 校友会事務局

近畿支部

2010年11月設立  
 連絡先: 校友会事務局

中国支部

2018年9月設立  
 連絡先: あさがお司法書士事務所内  
 品川 瑞  
 ehh@asagao-avenue.com

■ 海外支部

- ベトナム支部
- 中国支部
- ネパール支部
- マレーシア支部
- インドネシア支部
- バングラディッシュ支部

## 校友会組織



※正会員の資格は、校友会設立時(平成16年3月20日)以前と以後とで異なります。

会議  
総会  
理事会  
常任理事会

役員  
会長(理事)  
副会長(理事)  
顧問  
相談役  
参与  
理事  
監事

事務局  
事務局

支部等  
国内支部  
海外支部

愛媛大学校友会

正会員	校友会設立前	卒業生 (同窓会会員)	校友会設立(平成16年3月20日)以前から次の同窓会会員である者 旧制松山高等学校同窓会, 法文学部同窓会, 教育学部同窓会 理学部同窓会, 医学部同窓会, 医学部看護学科同窓会, 工学部同窓会(工業会), 農学部同窓会(ユーカー会)
		退職教員の会会員 退職職員会会員	校友会設立(平成16年3月20日)以前から 退職教員の会会員, 又は退職職員会会員である者
	校友会設立後	卒業生	平成16年度以降の卒業生で在学中に準会員であった者 及び卒業後に入会した者
		後援会会員	各学部後援会会員(準会員が在学中の期間のみ正会員となります) 法文学部後援会, 教育学部後援会, 理学部後援会 医学部後援会, 工学部後援会, 農学部後援会 社会共創学部後援会
		大学教職員 (退職者を含む)	校友会設立(平成16年3月20日)以降に入会した者 (退職後も正会員となります)
	準会員	在学生	在学中に校友会に入会した者(卒業後は正会員になります)
賛助会員	本会の事業を賛助する個人・企業及び団体		

## 校友会Q&amp;A

## ■ 校友会の目的は？

愛媛大学校友会は平成16年3月20日に愛媛大学の発展に寄与すると共に、会員相互の親交と交流を図ることを目的に設立された団体です。現在、会員は12万人を超えています。

## ■ 校友会の会費は？

校友会設立(平成16年3月20日)以前から各同窓会会員の卒業生は、校友会設立時に校友会の正会員としておりますので、校友会会費(2万円)を納めていただく必要はありません。  
また、校友会設立以降に入学した方は、入学以後に校友会会費(2万円)を納めれば在学中は準会員に、卒業(退学)後は自動的に正会員(終身会員)となります。

## ■ 各学部同窓会と校友会とのちがいは？

愛媛大学の同窓会は学部ごとに組織された団体ですが、校友会はすべての学部の垣根を越えて組織された団体で、各学部同窓会員、後援会員、退職・現職教職員及び在学生(準会員)も含まれる点で大きく異なります。

## ■ 学生(準会員)へはどんな支援をしているの？

学生へは大きく分けて「入学生支援」「教育支援」「課外活動支援」「学業奨励金給付事業」「海外留学支援」「留学生支援」「就職活動支援」「卒業生支援」等を行っています。  
最近では、入学生には「学修ポートフォリオファイル」及び「入学記念品」を、卒業生には卒業記念品として「今治のタオル製品」を贈呈しました。詳しくはP4~P11をご参照ください。

## ■ 卒業後はどんな活動に参加できるの？

総会(3年に1回開催)にぜひ参加してください。また、会員間の交流事業として「ホームカミングデイ」, 「新社会人歓迎会(全員集合in 東京, 大阪)」, 「就活学生との情報交換会」, 「講演会」, 「公開講座」, 「演奏会」等に参加いただけます。

## ■ 会員情報登録とは？

愛媛大学校友会員であっても住所、メールアドレスなどの情報を校友会に登録していただかないと、校友会から愛媛大学及び校友会の近況やイベント情報をお知らせすることが出来ません。大学や校友会からの情報発信や会員同士のネットワークを広げていただくため、ぜひ右頁の「会員情報登録のご案内」により会員情報登録(無料)をお願いします。まだ登録されていない方、卒業等により連絡先を変更された場合にも、変更登録をお願いします。  
なお、新規に登録された方には校友会から記念品を進呈いたします。



## 会員情報登録のご案内 ※登録は無料です。

### ① WEBからの登録

<https://www.koyu.ehime-u.jp/koyu/entry/> にアクセスして登録ください。

### ② ハガキ, FAXで登録

ハガキ, または紙に下記の必要事項を記入し, 送ってください。



QRコード

●は必須項目です

- 氏名: ( )  
旧姓( )
- 性別: 男 女
- 生年月日: 昭和・平成 年 月 日生( 歳)
- 住所: 〒 -
- 電話(携帯)番号 ( )
- メールアドレス( )
- 区分:  
卒業生 大学教職員 退職教員 退職職員 後援会員
- 
- ※卒業生のみ下記もご記入をお願いします。
- 卒業学部・学科・卒業年  
( )学部・研究科  
( )学科・専攻  
昭和・平成・令和 年 月卒業・修了

## 新規登録特典

### 「校友会オリジナルグッズ」を進呈



トートバッグ  
など

(在庫等の状況により変わります)

※愛媛大学校友会の会員の方のみご登録が可能です。  
※なお, ご登録いただきました情報に関しましては, 愛媛大学校友会が厳重に管理し, 校友会からのご連絡のみに使用し, 他の目的に使用したり, 第三者に提供することはありません。

----- お問い合わせ・送付先 -----  
愛媛大学校友会事務局  
〒790-8577 松山市文京町3番 校友会館2階  
TEL 089-927-8610/FAX 089-927-8609

## 事務局だより

### 原稿、写真や資料をご提供ください。

校友会では, ホームページや会報に掲載する原稿・写真を募集しています。

在学時・在職時の愛媛大学の思い出を, 写真等(当時のキャンパス・愛媛県内の風景など)ございましたら添えて, メール又は郵送で投稿してください。

また, 会報に関して, 大学関係で掲載して欲しい事, 見たい場所等ございましたらお気軽にご連絡ください。可能な限り取材して掲載したいと思います。校友会事務局は少人数での運営のため, 行き届かない点はどうぞご容赦いただきますよう, お願いいたします。



